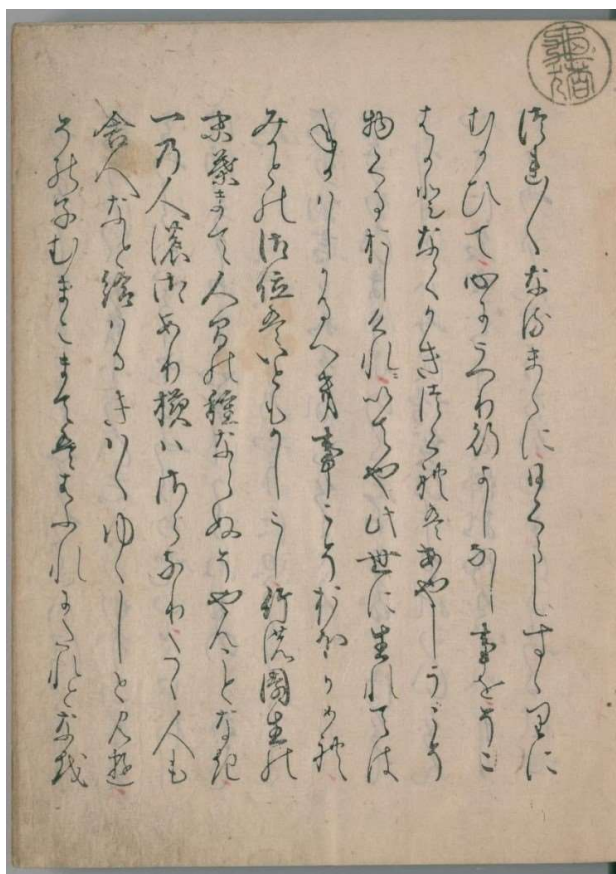


自由大学講座 2023 【前期】

# 徒然草を読む



嵯峨本『徒然草』  
(国立国会図書館デジタルコレクション)



西川祐信筆『絵本徒然草』  
(国文学研究資料館歴史人物画像データベース)

講師 中野 貴文 (学習院大学文学部 教授)

日程：6月9日、16日、23日、30日 (各金曜日・全4回)

※休講があった場合は7月7日(金)に実施予定

時間：午後2時～3時30分

会場：武蔵野プレイス4階フォーラム

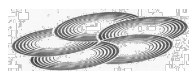
対象：武蔵野地域自由大学学生

定員：50名 (超えた場合抽選)

応募方法など、詳しくは裏面をご覧ください。

## 武蔵野地域自由大学学生限定講座

※この講座を受講するには、武蔵野地域自由大学への入学が必要です。詳しくは裏面をご確認ください。



兼好法師によって書かれた『徒然草』は、昨今研究の進展がめざましく、改めてその文学性の高さに注目が集まっています。本講義では4回にわたって、特に有名な章段を中心に『徒然草』を読み、その面白さを味わうことを目指します。

第1回は主に序段をとり上げ、兼好が「つれづれ」という言葉に込めた意味を問い直します。第2回は『徒然草』に登場する様々な階層の人々に焦点を当てます。その中で、鎌倉時代末期の歴史と文化についても、紹介したいと思います。第3回は兼好が語る怪異や宗教について考えます。中世の人々が、コロナのようなはやり病をどう捉えていたかについても、触れるつもりです。第4回は『徒然草』の中で最も重要ともいえる、「無常」について、新たな研究成果に基づいて、お話しいたします（講師：記）。

## 【各回予定テーマ】

- 第1回：「つれづれ」にものを書くということ
- 第2回：徒然草の語る人々～貴族、武士、そして僧侶たち～
- 第3回：女の鬼の話～中世のパンデミック～
- 第4回：無常の発見

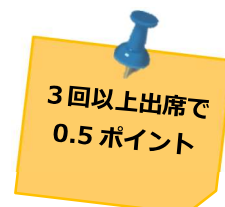
## 講師略歴 中野 貴文（なかのたかふみ）

学習院大学文学部教授。1973年山口県生まれ。東京大学文学部卒、同大学大学院人文社会科学研究所博士課程単位取得満期退学。熊本大学、東京女子大学を経て現職。博士（文学）。専門分野は、日本中世文学、とくに『徒然草』。主な著書に『徒然草の誕生—中世文学表現史序説—』（岩波書店）、『女学生とジェンダー—女性教養誌『むらさき』を鏡として—』（笠間書院）などがある。



## ■募集要項

対象：武蔵野地域自由大学学生 費用：無料  
定員：50名（超えた場合は抽選） 会場：武蔵野プレイス4階フォーラム



## ■申込方法（①～③いずれかの方法でお申込ください）

- ①「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」から申込み  
(<https://yoyaku.musashino.or.jp/mnet/web/index.jsp?MODE=2>)  
※インターネットで抽選結果が確認できます。（結果公開期間：5月26日（金）～6月9日（金））
- ②直接武蔵野プレイス3階自由大学事務局窓口へ
- ③自由大学学生の方は自由大学事務局へ電話（0422-30-1904）

**締切：5月16日（火）必着**

## ■武蔵野地域自由大学へ入学するには・・・

対象：18歳以上の武蔵野市在住・在勤、杉並区・西東京市在住の方（高校・大学生を除く）

費用：無料

手続き：武蔵野プレイス3階自由大学事務局へお越しください。

※健康保険証・運転免許証などの住民登録のわかる書類をご提示ください。

※在勤の方は、①社員証（勤務先の所在地が武蔵野市内と確認できるもの）の提示 ②在勤証明書等の提出 ③入学願書内の「勤務先の代表者による証明欄」への記入・捺印、のいずれかで在勤を確認します。

※お申込み時にいただいた個人情報は「武蔵野市文化・スポーツ・生涯学習ネット」を運営する武蔵野文化生涯学習事業団が管理運営する施設の予約及び教室の実施・運営に必要な範囲内で使用いたします。それ以外の目的で使用することはありません。

主催：武蔵野市教育委員会

問合せ：武蔵野地域自由大学事務局（武蔵野プレイス3階）

TEL：0422-30-1904 〒180-0023 武蔵野市境南町2-3-18

